



喜びの受賞者ら(前列左から3人目が人羅氏、同2人目が竹延氏、同左端が中島氏)

JVA2019 受賞者

- 【経済産業大臣賞】**
人羅俊実氏 株式会社FLOS FIA 代表取締役社長 (京都市西京区)
- 【中小企業庁長官賞】**
竹延幸雄氏 株式会社KMユニテッド 創業者・取締役社長 (京都市左京区)
中島徳至氏 Global Mobility Service株式会社 代表取締役社長執行役員CEO (東京都港区)
- 【中小機構理事賞】**
水野雄介氏 ライフイズテック株式会社 代表取締役CEO (東京都港区)
秋枝静香氏 株式会社サイフーズ 代表取締役 (東京都文京区)
中西敦士氏 トリプル・ダブルユー・ジャパン株式会社 代表取締役 (東京都千代田区)
- 【SDGs推進特別賞】**
秋田智司氏 WASSHA株式会社 代表取締役 (東京都文京区)
- 【eコマース推進特別賞】**
上ノ山慎哉氏 スタークス株式会社 代表取締役 (東京都品川区)
- 【ベンチャーキャピタリスト奨励賞】**
手嶋浩己氏 Xtech Ventures 共同創業者兼ジェネラルパートナー (東京都中央区)
- 野内 敦氏 株式会社オプトベンチャーズ 代表取締役 (東京都千代田区)

JVA 経産大臣賞に人羅氏

表彰式 中企庁長官賞は竹延氏と中島氏

中小機構は2月5日、東京都港区の虎ノ門ヒルズフォーラムで、次代を担う起業家を表彰する「JVA AWARDS AWARDS (JVA) 2019」の表彰式を開いた。18回目となる今回は、超低損失・低コストのパワー半導体の事業化に取り組むFLOS FIA (京都市西京区) の人羅 (ひとら) 俊実社長に経済産業大臣賞を授与し、中小企業庁長官賞など各賞合わせて10人を表彰した。ベンチャー経営者らによるピッチ(ショートスピーチ)、講演、パネル討論なども行われ、500人を越える会場は熱気に包まれた。FLOS FIAは、画期「造酸化カリウム」を用い、「低減に成功したパワー半導」在は量産準備中で、ロボット的な新材料「コランダム構」従来比最大9割の電力損失「体の事業化に取り組む。現トや電気自動車、白物家電

などさまざまな分野への搭載が期待される。人羅社長は「普段からコツコツやっているデータ観察などの地味な作業が認められた。当社を支援してくれた多くの方々に感謝したい」と受賞の喜びを語った。

中小企業庁長官賞はKMユニテッド(京都市左京区)の竹延幸雄社長と、Global Mobility Service (東京都港区)の中島徳至社長が受賞した。竹延氏は高齢化が進む建設業に対して熟練工の技能を動画で学ぶアプリを提供することで若手人材の育成に取り組む。また中島氏は世界で20億人以上いる車を買いたくてもローンの審査が通過しない貧困層に対し、フィンテックサービスを使ってローンを利用できるようにした。

表彰式では、滝波宏文経済産業大臣政務官、安藤久佳中小企業庁長官、長谷川博和審査委員長(早稲田大学大学院教授・日本ベンチャー学会副会長)、高田坦史中小機構理事長の4人がプレゼンターを担当した。高田理事長は「JVAはこれまで279人の起業家を表彰してきた。受賞の皆さんが次代の先駆者としてわが国の未来を切り開いてくれることを期待したい」と激励。滝波政務官は「欧米並みの創業率達成を目指す、経済産業省は従来の創業支援に加え、普及啓発活動の支援も始めた。皆さんには近い将来、ベンチャー立国・日本の旗手となってますます活躍してもらいたい」と祝辞を述べた。

長谷川審査委員長は「世界を代表するベンチャー企業をつくりたいと思ってJVAを運営している。応募者のレベルは年々上がっており、今回も応募総数は184件と審査するのに苦慮した。受賞を機にさらに奮起して世界に飛躍できるメガベンチャーになってほしい」と講評した。

表彰式に先立ち、ベンチャー企業の世界展開を支援する団体3社の代表が「グローバルベンチャーへの挑戦」をテーマにパネル討論会を実施した。

表彰式後の基調講演は、日本全国の印刷会社と提携し、印刷機の空き時間を使って高品質・低価格な印刷を実現するサービスを提供しており、物流分野でも同様のサービスを手がけるラクスル(東京都品川区)の松本恭輔社長CEOが登場。一顧客70万件のうち35万件は中小企業。従来は高額というイメージが強かったテレビCMの格安サービスも提供し、予算が少ない中小企業の販売促進活動や生産性向上に貢献したい」と話した。